

(1) 次期計画の推進に当たっての基本姿勢

●物事の基本を捉える

経済のグローバル化やICTの進化など、変化の激しい現代だからこそ、取組みの核となる基本や原点を常に捉えながらまちづくりを進めます。

●広い視野で変化を捉える

社会情勢や住民ニーズなどの変化を、町内外や中長期的といった広い視野で捉えながらまちづくりを進めます。

●迅速かつ柔軟に対応する

取組みの基本を軸に据えながら、様々な変化に対しては、迅速かつ柔軟に対応するまちづくりを進めます。

(2) 次期計画において目指す将来像

次期計画においても、思い描く将来像は現計画と同様ですので、現計画において掲げた基本理念を引き継ぎ、これを目指して各種施策を推進します。

豊かな緑と水に育まれ

- ・ 森林の「緑」と川の「水」に代表される自然こそがこの町の宝であり、「人」も「風景」も「産業」も「文化」も、この豊かな自然の中で育まれていくものです。
- ・ 先人たちが築いてきたこの町をしっかりと受け継ぎ、そこに現代の新たな考え方や技術を融合させながら、次代を担う「子供たち」によりよい未来をつないでいきます。

安らぎとにぎわいが調和する

- ・ 豊かで穏やかな自然や古くからたたずむ景観に人々は安らぎを感じ、活気あふれる産業や地域コミュニティが生み出すにぎわいは、人々に明日への活力をもたらします。
- ・ 「安らぎ」と「にぎわい」、その両者をほどよいバランスで「調和」させ、豊かな暮らしの実現を目指します。

共生のまち 住田

- ・ 「共生」とは、人と人だけが支え合うだけでなく、人と自然、自然と産業、自然と文化といった様々なものがつながり支え合うことです。
- ・ また、年代や性別、宗教や国籍など、様々な違いを理解し合い、その多様性を認め合うことが共生のまちにつながります。
- ・ 若者や女性をはじめ多様な存在を認め、誰もが自らの希望や力を発揮して活躍するとともに、お互いが支え合い誰一人取り残さない地域共生社会を目指します。
- ・ 町の名前が有住の「住」と世田米の「田」である由来に立ち返り、住民一丸、地域一丸となってまちづくりを進めます。